

「夢に向かって、歩み続ける淳風の子」

～自ら学ぶ意欲を高め、自律心と共に生きる力を育む～

今日の社会は、急速なグローバル化、情報化そして、少子高齢化といった様々な課題が見られる。このような 21 世紀を、子どもたちが、たくましく生き抜くためには、多様化する価値観を踏まえ、自ら課題を見出し、判断し、協働して解決していく姿勢や力が必要となってきた。そのために、「思考力」を中核とし、それを支える「基礎力」と使い方を方向付ける「実践力」という 21 世紀型能力と言われるこの 3 つの力を身に付け、生きる力を育んでいけるような取組を、地域・保護者とのつながりを大切にしながら実践していきたい。

＊「夢に向かって、歩み続ける」・・・「なりたい自分」を思い描き、それに向かってどのような力をつけたらよいかを子ども自身が考え、判断し、あきらめないでこつこつと行動し続ける。

＜そのために＞

- ＊「自ら学ぶ意欲を高め」・・・与えられた課題をこなすだけでなく、自分から課題を見出し、主体的に学ぼうとする意欲をより一層高めていく
- ＊「自律心」・・・他者や社会とのかかわりの中で培われていく豊かな人間性や道徳性、協調性を基盤とする自他を大切にする心や公共の精神に基づき行動する態度、自分を自分でマネジメントしようとする気持ち
- ＊「共に生きる力」・・・子どもたちが、様々な学習活動や体験活動を通して、お互いの生き方や価値観の違いを認め合い、その良さを高め合っていくことで、より良い人間関係を形成していける。自分の考えを他者と比較し、共通点や相違点に気づき、話し合いを深めていくことができる。さらに、話し合いをもとに、自分の考えを振り返り、再構築していく。

「意欲」「自律」「共生」という 3 つのキーワードを大切にして、子どもたちが、主体的に生き、自分の夢を実現できるような生きる力を身に付けていけるようにしたいと考える。

1. 目指す子ども像

- ・自ら学ぶ子
- ・あいさつをすすんでする子
- ・ありがとうの気持ちを大切にする子

2. 目指す学校像

- ・子どもたちが学びたくなる学校
- ・教職員が誇りを持てる学校
- ・保護者が信頼する学校
- ・地域が応援したくなる学校

3. 目指す教職員像

- ・子ども一人一人を徹底的に大切にする教育的愛情と情熱・使命感を持った教職員
- ・伝統を守り、変容を見とろうとし、適切にコミュニケーションできる教職員
- ・幅広い研修を積み、自らを高めようとする教職員